

あいの風とやま鉄道運行ダイヤのポイント

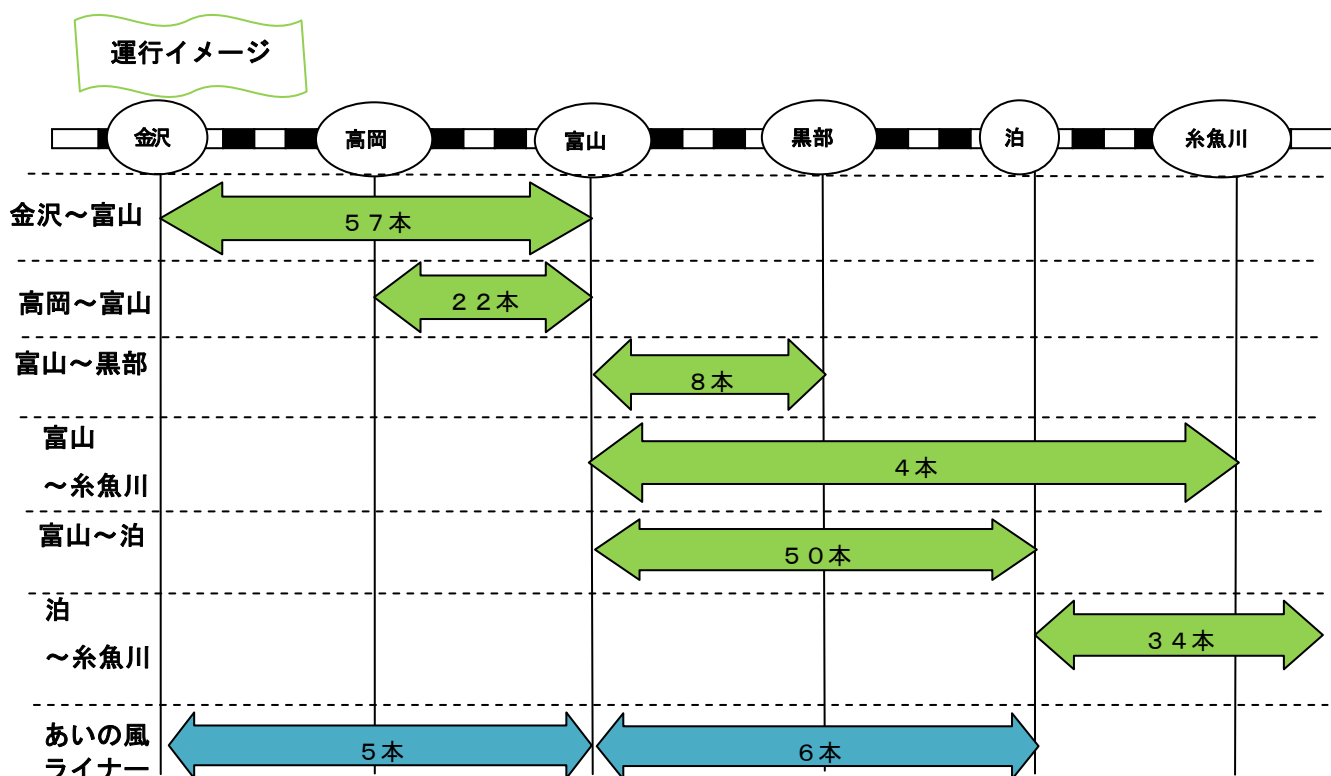
あいの風とやま鉄道

① 運転本数を増やします。

朝の通勤・通学時間帯の混雑緩和と利便性確保のため、運転本数を増やします。

区間	開業前本数	開業後本数※（内あいの風ライナー）	増減
金沢～高岡	5 7	6 2（5）	5
高岡～富山	7 7	8 4（5）	7
富山～黒部	6 2	6 8（6）	6
黒部～泊	5 2	6 0（6）	8
泊～糸魚川	3 8	3 8	0

※本数は平日で、開業前本数は特急列車を除き、開業後本数はあいの風ライナーを含みます。



② 泊～金沢間に「あいの風ライナー」を運転します。

速達性向上のため、泊～金沢間に3往復の「あいの風ライナー」を運転します。

（一部の列車は泊～富山間のみ運転）

停車駅は、金沢・石動・高岡・小杉・富山・滑川・魚津・黒部・入善・泊です。

「泊駅」発 → 「金沢駅」行 2本

「泊駅」発 → 「富山駅」行 1本

「金沢駅」発 → 「泊駅」行 3本 ※土曜・休日は、運休します。

*ご乗車には、乗車券の他にライナー券（300円：座席指定料金）が必要です。

発売箇所は、列車内・駅（金沢駅を除く停車駅）にて発売します。

③ 泊方面最終列車の発車時刻を繰り下げます。

県東部方面ご利用者のご要望にこたえ、富山発泊行の最終列車の発車時刻を約 30 分繰り下げます。(現行 22:57 → 開業後 23:30)

④ 富山駅で始発と最終の「かがやき」(北陸新幹線)に接続します。

泊・魚津方面や石動・高岡方面の各駅から、富山駅で始発・最終の北陸新幹線「かがやき」に接続します。

⑤ 富山駅での直通列車を増やします。(合計 11 本→23 本)

お年寄りや、身体の不自由なお客様、列車に不慣れなお客様に対し富山駅で乗換えしなくても良い直通列車を増やします。(待ち時間 15 分以内の列車)

⑥ JR 城端線との直通運転を継続します。

JR 城端線から富山駅までの直通運転を引き続き行い、ご利用者の利便性を確保します。

⑦ IR いしかわ鉄道、えちごトキめき鉄道各線と直通運転を行います。

お客様の利便性を確保するため、IR いしかわ鉄道線と、えちごトキめき鉄道線に相互に列車を乗り入れる直通運転を行います。

⑧ 泊駅で、糸魚川方面と富山方面の列車が乗継となります。

あいの風とやま鉄道の列車は、朝晩の一部直通列車を除き泊駅まで運転を行い、折返し運転を行います。なお、えちごトキめき鉄道の列車は泊駅まで乗り入れし、折返し運転を行います。

泊駅では、同一ホームでの接続を行い、乗換のお客様のご負担を軽減します。

⑨ 日中の時間帯にワンマン運転を行います。

521 系 2 両編成の電車を概ね 10 時から 15 時の日中の時間帯において、石動～泊間でワンマン運転を行います。(一部列車を除きます)

- ・運賃は降りる駅でお支払下さい。(車内での運賃の支払いはありません)
- ・無人駅からのお客様は、降車駅の係員に運賃をお支払い下さい。改札係員のない駅では改札口設置の集札箱に切符又は運賃を入れて下さい。

(注) IR いしかわ鉄道線区等(金沢駅～石動駅間)では、ワンマン運転を行いません

⑩ 特急列車の通過待ちが無くなり、到達時間が改善されます。

開業後は普通列車中心の運行となるため特急待ち時間が解消でき、所要時間の短縮が図られます。

⑪ 城端・氷見・高山線の接続について、乗り継ぎの円滑化に努めます。

通勤・通学でご利用の多い朝 7 時台において、5 分～15 分程度の接続時間で、城端、氷見、高山線との円滑な乗継に配慮します。